

(持ち込み不可)

【設問】

- (1) 1938-39 年にかけて、ドイツがチェコスロヴァキア全域を影響下に置くまでのプロセスについて、諸国との外交関係にも触れつつ説明してください。
- (2) 対ポーランド戦争（侵攻）へ向けてのドイツ側の外交準備について説明してください。またドイツのポーランド侵攻がどのようにして第二次世界大戦の始まりをなす戦争となったかについても説明してください。

【解答の指針】

両設問とも、講義の内容を確認する基本的なものです。

(1) ズデーテン・ドイツ人党を用いたズデーテン問題の争点化から説明することが望ましいです。チェコスロヴァキアとの国境問題の起源についてヴェルサイユ条約にも言及することも期待します。ヘンラインの活動とそれに対する各国の反応に触れつつ、ミュンヘン会議が開かれるに至ったプロセスとミュンヘン会議の内容そのものと、その国際政治的性質の説明が必要です。さらにその後のスロヴァキア民族運動やそれに対する各国の反応、チェコスロヴァキアが側の対応とドイツの反応についての説明が必須です。

(2)

ドイツがそれまで結んでいた国際条約を一方向的に破棄し、イタリアとの条約を成立させたことへの言及がまずは重要です。加えて軍事面での準備、外交面施策について、少なくとも対英外交と対ソ外交を比較しながら論ずることが必要です。)そして独ソ不可侵条約及び附属議定書の説明とその国際政治的意味に触れられていることを期待します。

第二次世界大戦の始まりとしての説明は、イギリスがドイツのポーランド侵攻にどのように反応したかに触れつつ説明されることが必要です。